

女川町 支援活動レポート

2015.8.22～2015.8.23

(東京都港区 麻布十番商店街納涼祭)



頑張ろう日本！ 頑張ろう東北！



平成27年9月1日(火)
東北応援団 白金支部

女川町 支援活動レポート

東日本大震災により、亡くなられた方のご冥福を、心からお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興を、心からお祈り申し上げます。

1. はじめに

暑い夏の日が続くこの8月、2012年の初開催から4回目となる「女川常夜灯 盆火プロジェクト」が今年も女川町で行われました。2012年に「女川常夜灯 迎え火」として開催されたときは、それぞれのご家庭が家の痕跡が残る敷地で、海風にゆらゆらとゆれる、小さな優しい灯りを囲んでいらしたのがとても印象的でした。今年は嵩上げ工事に伴い、規模を縮小しての開催だったそうですが、小さな灯りを囲み、変わりつつある女川町を背景に、変わらない優しい時間を過ごされたことと思います。

9月は今年も「女川秋刀魚収穫祭」が開催、女川町内外からたくさんの方々が集まり、賑わいをみせることでしょう。そして10月には、ロックフェスティバル「東北ジャム」の開催が女川町に決定したそうです！女川町の交流人口が益々増えることが期待されます。

女川町からのいろいろなニュースが聞こえてくる中、白金支部では東京で出来る女川町PR活動 第二弾として「麻布十番納涼祭」に今年も出店いたしました。ブースに足をお運びいただきました皆様、本当にありがとうございました。

感謝のお気持ちをお伝えすると共に、活動の様子をご報告させていただきます。

2. 活動報告

(1)概要

- ◆イベント名 麻布十番商店街 納涼祭2015
- ◆日時 2015年8月22日(土) 15:00~21:00
2015年8月23日(日) 15:00~21:00
- ◆会場 麻布十番商店街

(2)出店目的

- ・ 女川町PRとして、一人でも多くの方に女川町の食べ物を食べていただき、名前を覚えていただき、関心をもっていただく。
- ・ 女川町の生産活動、経済活動に少しでも貢献すること。

(3)出店の構成

- a. 炭火焼き秋刀魚、ホタテ炭火焼の実演販売、および生ビール販売
 - ◆ 女川産さんま炭火焼き：販売目標 各日 800尾 計 1600尾
 - ◆ 女川産ホタテ炭火焼：販売目標 各日 480枚 計 960枚
 - ◆ 生ビール(女川ホップペール)：販売目標 各日 140杯 計 280杯
- b. 「蒲鉾本舗 高政」及び「マルキチ阿部商店」の女川町物産販売サポート



秋刀魚、ほたての炭火焼は最高のパフォーマンスです！



炭火焼の撮影をされる方もいました

(4)活動レポート

8月16日(日)【スタッフミーティング】

出店一週間前となり、打ち合わせを行いました。全体的な確認事項、注意事項に続いて、各グループ、配膳PR、窓口会計、焼き係に分かれて細かい打ち合わせです。当日の役割、シフトの確認を行いました。

8月22日(土) 麻布十番納涼祭 1日目

今回も白金支部地元の協力者、橋本様のご厚意により、集会所で荷物の受け入れ、道具集めなどを行いました。冷蔵品はクーラーボックスに詰め替えます。今回は物販の販売ディスプレイにステンレストレーを使用し、トレーを冷やす為のドライアイスも届きました。午後に雨が降るとの予報もありましたが、予報も変わり、夏の日差しが眩しく、気温もぐんぐん上がってきました。

お屋前後にあらかじめ養生をしていたブースに、荷物の運び込みを行い、いよいよ設営の開始です。

15:00 販売開始

お祭り開始時刻となりました。ポップの取り付けなどの設営に時間がかかってしまいましたが、何とか販売開始となりました。販売開始時間前から並んでくださったお客様に、早速焼きあがった、秋刀魚炭火焼、ホタテ炭火焼をお出します。

日が落ちてくるとお祭りはピークの時間を迎えます。焼き上がりを待つ列は隣のブースまで伸びていきます。並んでいる方に、麻布十番祭では初めて販売する生ビール「女川ホップペール」をお勧めします。「女川ホップペール」は女川町の希望の鐘商店街のビールバー「ガル屋」さんが、県内の醸造会社「仙南シンケンファクトリー」と開発したビールです。すっきりとしたこの味のビール、都内で飲んでいただく機会は少ないので、是非試していただきたく、積極的にお声がけいたしました。

物販ではリピーターの方が「去年もいたよね？」と訪ねてくださったり、美味しかったからとまた購入くださったりする方がいらっしゃいました。最高級の材料をつかった「蒲鉾本舗 高政」さんの蒲鉾は安定の人気です。夏の定番、「ぶちあげ」シリーズの茶豆はさわやかな茶豆の味と食感がおいしいと評判です。また、手に取りやすい「笹かま」なども先に売れていくようです。

「マルキチ阿部商店」さんでは、おなじみの農林水産大臣賞を受賞した「リアスの詩」シリーズの他、今年新商品として出されているホヤの加工品も人気でした。実演販売の列に試食をお出してお勧めすると、お酒好きの方などおつまみにと買ってくださいの方がいらっしゃいました。



ピークの時間はバックヤードも大忙し！



物販ブースでは商品を手に呼び込みをします

21:00 1日目終了

実演販売品のホタテは早々と完売、続いて秋刀魚も19時半頃には完売となり、片付けを始めながらお祭り終了時刻まで、物販販売のブースの応援販売を行います。片付けもあらかた終わり、一日目の終了時刻となりました。搬出部隊を残し、解散となりました。

この日は女川町からお越しくださいました、「蒲鉾本舗 高政」の高橋 正樹様、「マルキチ阿部商店」の阿部 淳様を交えて、大門のホルモン焼の名店「夏冬」で懇親会を行いました。人の多い催事会場でのブース作りでは、看板の大きさなどが人目を引くポイントになることや、早めに売り切れたホタテの今後の販売食数可能性など、来年の催事出店に関してのアドバイスをいただいたり、今後の女川町で開催されるイベントのお話などをお伺いしたりしました。

8月23日(日) 麻布十番納涼祭 2日目

この日も午前中から白金の集会所にて物品の受け入れ、冷蔵品のクーラーボックスへの詰め替えから始めます。作業をしながらも、集まったスタッフで前日の反省からこの日にどう改善していくかの話し合いを行いました。

前日手間取ってしまったポップは、この日は急遽手配した木で作った枠に、取り付けすることにしました。物販エリアの前を塞ぎがちだった列の並びも、物販エリア前で折り返して並んでいただくことにしました。

ブース出店位置では、お昼頃から養生を開始、機材や販売品の搬入も完了、設営を進めていきます。

この日は午後遅い時間からの雨の予報がでていた為、対策として、いつもは取り付けられないターフのカバーを骨組みの屋根部分に折りたたんで設置、万が一雨が降ったときにすぐに被せられるように準備しておきました。

15:00 販売開始

設営準備も完了し、この日は時間前に秋刀魚やホタテも焼きあがり、販売開始と同時に、お客様にお渡することができました。

「宮城県女川町のブースです！」脂ののった秋刀魚の炭火焼に、活ホタテの炭火焼はいかがでしょうか！」

土曜日よりも人の並びが早く、日が落ちるまえから、商品をお待ちいただく方でブースの前には長い列ができました。この日もホタテの売れ行きが好調です。女川町の魚の目利きの店「おかせい」さんから仕入れたホタテは、前日に水揚げされたばかりで、身も大きく、秋刀魚炭火焼と同様に人目を引きつけます。そして、列の折り返し地点での誘導係は、並んでいる方に積極的に話しかけ、物販品をお勧めします。

今回は、「マルキチ阿部商店」と「ガル屋」さんに許可をいただき、今年行われた「女川ポスター展」で作成されたポスターもポップとして使用させていただきました。(※注1)「昔おくるみ、今昆布」「こんなに飲ませてどうする気？」キャッチフレーズが秀逸なポスター、列に並ぶ方が目に留めてくださって、「女川ポスター展」のお話をさせていただきました。

夕方、風が変わり、ポツポツと雨が落ちてきました。焼き上がりの商品を雨ざらしにはできないので、急遽、実演販売の1ブースのターフにカバーを取り付けました。雨が降る前に、売り切ることを考え、焼きのスピードをあげ、呼び込みの人数も増やし、列が途切れないようにしました。



会計窓口は絶え間ないお客様の対応に追われます



マルキチ阿部商店の阿部淳さん



お客様接客中の蒲鉾本舗高政の高橋正樹さん

先にホタテが完売し、実演販売の強みであるパフォーマンスとして、ブース前面の焼台に秋刀魚を並べ、秋刀魚炭火焼を勧めます。「家庭ではできない秋刀魚の炭火焼！皮はパリッと、身はふっくら！最高だよ！」「女川町の脂ののった秋刀魚はいかがですか！？」道の中ほどまで出て、歩いている方を呼び止めて女川町の自慢の秋刀魚をアピールします。

そして、この日はこれまでの催事で最速、19時に実演販売は完売となりました。まだまだ人の流れがあり、片付けを始めた人員以外は全員物販ブースの呼び込みにまわりました。

21:00 終了！

お祭り終了となりました。撤収のトラックが来る前に、一同集まり、「蒲鉾本舗 高政」の高橋正樹さんの音頭で、一本締めを行い、1日目、2日目とお手伝いいただいたスタッフ参加の方々にもお礼をお伝えし、解散となりました。

以上をもちまして、この度の活動の報告とさせていただきます。

※注1 「河北新報」さんの「今できるプロジェクト」で、女川町を応援しようと、女川の商店、企業のポスターを、東北を中心としたクリエイターさん達が作成されました。河北新報社さん、「マルキチ阿部商店」と「ガル屋」さんに今回の麻布十番商店会納涼祭に限り、使用の承認をいただいております。



2日間、お疲れ様でした！

3. 活動を終えて

私たちに出来ることをと、毎年試行錯誤を繰り返しながら行ってきた催事の出店ですが、今年は過去最高の延べ2800人という方々に女川町の食べ物を口にさせていただきました。

東京で出来るPR活動としては、まずは女川町のものを口にさせていただくこと、美味しく召し上がっていただくこと、そして女川の名前を覚えていただくことが大事だと捉えています。女川町の名前をこれまで耳にしたことはあっても関心がなかった方、初めて女川町のことを口にされる方、こういった一般の方々へ広くアプローチできるのが、催事の出店の魅力です。

課題もたくさん見つかった今回の活動ですが、これだけ多くの方々に女川町の食べ物を口にさせていただいたことは、大きな一つの成果だったと思います。ブースに足を運んでくださった皆様、本当にありがとうございました。

今回も「女川町観光協会」様を始め、「蒲鉾本舗 高政」様、「マルキチ阿部商店」様に出店のご協力をいただきました。また、「愛と勇気とさんま実行委員会」の皆様にも大変お世話になりました。皆様のお力添えにより無事に終えることが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

4. 今後の活動

◆みなと区民まつり 2015

【日程】 10月10日(土) 11:00~17:00

10月11日(日) 10:00~16:00

【場所】 港区芝公園1丁目5番25号付近

ふるさと物産展(港区役所エリア)

都営三田線 御成門駅 A2出口 芝公園駅 A5出口

都営浅草線 都営大江戸線 大門駅 A6出口

【活動内容】

女川町PR活動 第三弾「みなと区民まつり」に今年も女川町観光協会さんのご協力のもと、出店させていただきます。定番となってきたホタテ入りさんますり身汁、「スペシャル女川汁」のほか、女川町の美味しい魚を使ったスペシャルメニューを考えておりますので、お楽しみに！生ビールと共に召し上がってください。

女川町からは「蒲鉾本舗 高政」さんの原料に使う魚の違いで色々な味が楽しめる笹かまや、人気のぷちあげシリーズなどを販売いたします。また、「マルキチ阿部商店」さんでは、定番昆布巻き「リアスの詩」や、ミネラルたっぷりの小女子に三陸の最高級塩蔵わかめなど、他多数の物産販売をいたします。

皆様のお越しをお待ちしております。

5. 補足事項

(1) 参加者 (敬称略/順不同)

安部 由美	後藤 奈津子	瓜田 創	平井 智子
三上 加寿子	田中 智子	長南 美貴	末石 義史
小林 信行	鹿内 美穂	高柳 和幸	林 友洋
林 麻衣子	楠 貴裕	黒川 涼香	中村 亮士
窪田 大悟	吉野 琢己	北村 悠馬	林 郁美
池田 木綿奈	高橋 知樹	箭内 沙也香	蜜口 真人
工藤 史大			

(2) 後方支援者 (敬称略/順不同)

(故)橋本 翔二	橋本 直	橋本 渉	石川 重美
石川 篤史	川口 隆	小澤 徹	平林 真百合
加藤 豊	小澤 雅志	川端 陽子	

(3) 支援物資提供 (敬称略/順不同)

大門ホルモン焼 夏冬	株式会社カワチヤ・プリント	有限会社友邦社
------------	---------------	---------

(5) 協力 (敬称略/順不同)

女川町観光協会	蒲鉾本舗 高政	マルキチ阿部商店	河北新報社
愛と勇気とさんま実行委員会			

(9) 主催元

港区 麻布十番商店街

皆様からの、あたたかいご支援・ご協力のうで、成り立っております。
本当にありがとうございました。
私達は、被災地への支援活動を、継続していきます。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。



平成27年9月1日
東北応援団 白金支部
工藤 史大

★東北応援団 白金支部 WEBサイト★

<http://www.onagawa.e-ouen.jp>

※このレポート内にあります画像の流用及び転用は、一切禁止します。

Copyright (C) 2012 Tohoku-Ouendan All Rights Reserved.